

# 富山大学薬学実習 報告

- ◆期 日 平成30年7月29日（日）～7月31日（火）
- ◆場 所 富山大学薬学部
- ◆活動内容 1日目 医薬品化学講義、合成実験  
2日目 合成実験  
3日目 薬理学講義、動物実験
- ◆参加生徒 2学年普通科理系・理数科学科生徒20名
- ◆指導者 富山大学薬学部 分子合成科学研究室、薬品製造学研究室  
薬化学研究室、薬剤学研究室、応用薬理学研究室内の先生方と大学院生の皆さん

富山大学薬学実習では、参加生徒は10人ずつ、「プロベネシドグループ」と「ジフェンヒドラミングループ」のグループに分かれて、それぞれ講義を受けたり、実験を行ったりしました。

実習に当たり、大学の先生方から、有機化学や医薬品化学、薬理学など、学校ではまだ習っていない分野や、学校では習えない内容についての講義を受けました。普段はあまり聞くことのできない薬学の話に、生徒たちはみな真剣に聞き入り、大変興味を持ちました。さらに動物実験を行う前に、動物実験講習で動物の生命を扱う実験を行う心構えを教わりました。

TAの方に協力してもらいながら、薬の合成・製造から、動物の体内に薬を投与して反応を観察する薬理作用の確認まで、薬を作るための一連の実験を行いました。学校では化学や生物の授業で実験を行う機会があまり多くないので、参加した生徒たちは、慣れない実験や初めて見る器具や機械に最初は戸惑いましたが、徐々にそれにも慣れて、高度な実験を行うことができました。

参加者からは、「化学基礎の知識だけで大丈夫か不安だったけど、大学の先生や大学院生の丁寧な説明のおかげで、意味を理解しながら楽しく実験できた。」「自分の進路選択に新しい選択肢を与えてもらった。」「薬学にも関心を持つことができた。」「化学の学習のモチベーション向上につながった。」などの感想がありました。休憩時には昼食を取りながら先生方やTAさんと話をしたり、薬剤の反応を待つ間に先生方の研究室、図書館、病院などを案内してもらったので、実験以外でも大変有意義な実習となりました。

